

青少年国際交流事業「克蘭フォード町」

本格的な友好・親善関係スタート

8月3日(土)～8月8日(日)の日程で、米国ニュージャージー州・ニューヨーク州に派遣された青少年国際交流事業に参加した中学生。町の未来を担う子どもたちに国際感覚を学んでもらうため派遣されました。昨年は柔道を通じたスポーツ交流を中心に行いましたが、今回は町内の全中学生を対象に参加者を募り、14人が参加しました。全日とも晴れて、気温は24～25度と湿度もなく過ごしやすい日となりました。

また、もうひとつの目的でもある一層の友好親善促進は、小野町長や町議会議員8人、現地克蘭フォード町長ら幹部たちが参加した公式セレモニーの場において、トーマス・ハーネン町長が、姉妹都市として交流していくことを宣言しました。町出身で米国五輪チームコーチや、米国柔道連盟会長などを歴任

した柔道家・米塚義定氏の縁で始まった交流は、両町の友好・親善をより深めていくことが約束され、特別な関係が構築されました。



【宣言するトーマス・ハーネン町長】

町役場を出発



【出発式で抱負を述べる佐々木さん】

青森空港→仁川空港(韓国)



【仁川空港へ向かう機内にて】

克蘭フォード町長の宣言(声明)
○克蘭フォード町は、1871年、ニュージャージー州連合郡に設立された町である。
○中泊町は、日本国青森県北津軽に位置する町である。
○克蘭フォード町民は、世界中のコミュニティの人たちについてさらに学ぶとともに、国際交流、理解を促進する希望があることを表明する。
○中泊町長が社会、政治、文化面で2つの町の交流を図るため克蘭フォードとの姉妹都市関係樹立への招待を出した。
○克蘭フォード町行政委員会は、このような関係構築は、両町の町、住民にとって有益であると考える。
○克蘭フォード町行政委員会は、克蘭フォード町と国外、国内のほかのコミュニティと、相互意思疎通、交流、発見が促進されることを願う。
○今ここに、克蘭フォード町行政委員会を代表し、町長トーマス・ハーネンは、訪問者を歓迎し、文化的な発見を促進する特別な関係構築のために中泊町の招待を受け入れ、世界の人々とのつながりを進めることを宣言する。

国際交流事業に参加して



成田 新汰くん (小泊中1年)

僕が克蘭フォードについてからしたことは、まず、柔道空手センターを見学しました。賞状やメダル先生の生徒が優勝したときの新聞などがたくさん貼ってあり、すごいなあと思いました。また、現地の警察と消防を見学しました。大きいライフルを見て危ないなあと思いました。

昼食後、町経営のプールに行きました。初め全然深くないと思って、飛び込みをしたらけっこう深くて、もう少しで溺れるところでした。その後はすこし浅い方のプールで泳ぎました。夜は、克蘭フォード町関係者や現地学生と夕食交流会でした。学生の言葉は何もわかりませんが、手が携帯の翻訳機能を使ったりしたので、なんとかコミュニケーションをとることができました。

次の日は、エリザベスのショッピングモールで買い物をしました。夕食はニューヨークの和食レストラン

仁川空港(韓国)→ジョン・F・ケネディ空港(米国)



【14時間のフライト…眠い】

ジョン・F・ケネディ空港(米国)到着



【空港からホテルへ向かう】

ニューヨークに行つて来た思い出



敦賀 楓恋さん (中里中2年)

私は、初めてニューヨークに行くことになりました。私は行くこと決めた時はとてもわくわくしました。飛行機に乗った瞬間は、ああいよい

よニューヨークに行くんだ、私達は中泊町の代表者なんだと実感しました。飛行機の中では、私が特に真剣に見ていたのが韓国ドラマです。でてくる人が個性豊かでおもしろかったです。そしていよいよニューヨークに着きました。ホテルに着くまでは夢のような世界でした。街は光にみちあふれていたからです。初めて見る光景なので友達と興奮していました。ニューヨークはとても過ごしやすい温度でした。私達は自由の女神などを見に行きました。自由の女神は右足を一步引いていることを知りました。3日目は、外国人と一緒にいろいろ歩き回りました。特におもしろかったのはプールです。外国人とも親しくなつて一緒に英語をしゃべりました。4日目、ショッピングなどをした後、いよいよ帰る時がやってきました。乗り換えの仁川空港で、時間があつたので店を見に行きました。私は韓国のハンドクリームを買いました。家に帰って使ってみようと思います。まず、私は家に帰ったらみんなにだいたいと言いたいです。とても楽しかったです。

国際交流事業に参加して



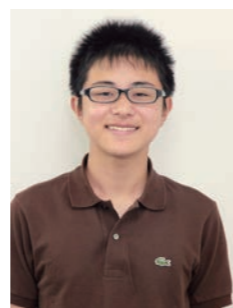
橋本 萌香さん (小泊中1年)

私がアメリカを見て感じた事は綺麗なということ。飛行機から見た感じだとスパンコールみたいでした。でも、実際空港の外に出てみるとゴミだらけでした。たばこの吸いながらも隙間という隙間にギョウギウウに詰まっていて、日本ではありえない行動にビックリでした。でも、現地の人はとても良い人ばかりで、克蘭フォード町はNYとは真逆で、静か、綺麗でとても平和な感じでした。

プールでは現地学生といっぱい話した。公式セレモニーでも少し話をしていて、みんなたくさん食べるから「お腹すいてるの？」と聞くと、「とてもお腹がすいている」と返ってきたので、そんなに腹が減っているのかと思いきや皆大笑いした。

夕食交流会では白人の可愛い人と中国とインドのハーフの子と食事をしました。 아이폰で会話をしたり、折り紙をもらったり、流行っている遊びを教えてもらったり、仲良

中泊町青少年国際交流事業に参加してみよう



西久保 健くん (小泊中2年)

ニューヨーク市内の視察では、グラウンド・ゼロなどを見に行きました。エンパイア・ステート・ビルの展望台でも高く足がすくみましたが、カメラでニューヨークの風景を撮ることができてよかったです。

3日目は克蘭フォードへ行ききました。まず柔道空手センターの米塚義定さんの所へあいさつをしに行き、公式セレモニーで現地の学生へ記念品を贈呈しました。僕はあまり英語が得意ではないので少ししか話ができなかったけれど、いっしょに笑って遊ぶことができました。この日は克蘭フォードのホテルに泊まりました。部屋がとても広く、台所やキッチンとしたテーブルもあり設備が充実していました。

4日目はショッピングモールへ行きました。おみやげが中々決まらず悩んでいましたが、一緒にいた役場の人が行った店に行くと言っておみやげが決まり、いい買い物ができ

くしてもらいました。 NYでバスに乗っているときに思ったことは、ランニングシューズの人が多かったです。あと犬も、しかも綺麗で……。羨まし。やっぱり外国人って凄いなあ。 また、アメリカに行きたいなあと思いました。でもNYより克蘭フォードの方に……。今度外国に行く機会があったら、ある程度その国の言語を勉強してから行きたいです。

8月4日(日) ニューヨーク市内視察



【ロックフェラーセンター】

【タイムズスクエア】



【自由の女神像】

【高層ビル建築中のグラウンド・ゼロ】



【エンパイアステートビルからの眺め】



【市内レストランでランチ】

憧れのアメリカ!



葛西 柚乃さん (中里中2年)

憧れのアメリカに初上陸し、ホテルへ向かうバスから見た夜景は、長時間のフライトの疲れが吹き飛ばすほど衝撃的でした。たくさんのビルの

明かりがキラキラしていて、とてもきれいでした。 何もかも衝撃的なアメリカでしたが、一番は現地の学生さんたちと会話できたことでした。どんな授業があるか、学校は楽しいかなど、そんな話から始まりました。「勉強はきらいだけど、学校で友達とおしゃべりするの好き」とも話していました。 そういう所は同じなようです。 2人は空手をやっているらしく、芳枝は柔道、私は剣道をやっているの、道着を着ている写真を見せたら、笑って、かっこいいと言われました。確かに初めて見たら、笑っちゃうかもなあ。 そんな話をしながら、やっぱり女子ノ、ガールズトークが始まります。「彼氏いるの?」など、日本もアメリカも、恋の話は好きなようです。

質問の中で一番うれしかったのは「どうして、そんなに英語がしゃべられるの?」という質問。ずっと通じているか不安だったので、この質問がすごく嬉しかったです。 あつという間に仲良くなれた夕食でした。 今回の国際交流は、私にとって、とてもプラスになりました。 アメリカでの経験を、これからの生活に生かしていきます。 アメリカ、楽しかったー!

ニューヨークでは、まずグラウンド・ゼロに行きました。実際に飛行機が突っ込んだビル周辺なので、とても広かったです。次に自由の女神像を見に行きました。船に乗って女神像のある島まで行きました。風が気持ち良かったです。実際に見る女神像は、テレビより迫力がありました。 次の日、ニュージャージー州に向かいました。ニュージャージーは向かうにつれ、どんどん自然が増えてきました。まずは、米塚先生の道場を見に行きました。先生の道場は地下にあって、結構広かったです。克蘭フォード町の役場で、現地学生とセレモニーをした後、学生同士で話す時間が与えられましたが、なかなか話せませんでした。

現地学生達と一緒にプールにも行きました。ウォータースライダーもあって、面白かったです。 プール後は、夕食交流会に行きました。初めは、なかなか話せずとまどっていました。スマホの力も少し借りつつ、話すことが出来ました。料理はとっても美味しかったです。

次の日のサイエンスセンターは、色々な体験があって面白かったです。 ニューヨークへ戻り、仁川を経由して日本に帰ってきました。 日本ではできない体験だったのでまた行きたいです。

USA



田中 良和くん (中里中1年)

私は、最初にアメリカ行きを聞いた時、すぐに行きたいと思いました。 父も母も、すぐに快諾してくれました。

■アメリカに行つて



三上 有美奈さん (中里中2年)

8月3日、楽しみにしていたアメリカへ行く日が来ました。2時間40分くらいで仁川空港に到着しました。奈央さんや楓恋さんと買い物をして、スムージーも飲みました。量が多かったです。いよいよケネディ空港へ向かいました。少し時差ボケがありました。

2日目、自由の女神、グラウンドゼロなどを視察しました。建物は高くてすごかったです。

3日目は、克蘭フォードに向かい、柔道空手センターへ行きました。そして公式セレモニーを行いました。英語はあまり話せなかったけど、コミュニケーションをとることができたと思います。

4日目は、朝食をいつもより多く食べてしまいました。それでももの足りなくて売店でピザを買って食べました。アメリカのピザはおいしかったです。柔道空手センター後にファミレスに行きましたが、朝食を食べすぎてあまり食べられません。

■初めてのアメリカ



三和 奈央さん (中里中2年)

8月3日、私は初めてアメリカへ行きました。私は旅行も初めてですが、飛行機に乗るのも初めてで、ドキドキ、ワクワクです。アメリカに到着したのは夜中で、夜なのに車が大量に行き来し、クラクションの音が鳴り響いて青森と違ってにぎやかだなあと思いました。

1日目はニューヨーク市内視察です。グラウンドゼロは、同時多発テロで2棟のビルが壊され多くの人々が犠牲になった場所で、石碑が建てられていました。本当に大変な事が起きた場所なんだと、あらためて実感しました。

2日目はいよいよ克蘭フォードの学生達との交流会です。克蘭フォード町はニューヨークと違ってビルが無く、緑豊かな町です。いざ学生を前にすると緊張して名前を聞く事が精一杯でしたが、小泊の熊本寧々さんに助けてもらい、なんとか会話できました。アメリカの学校は小学校が5年、中学校が3年、高校

した。帰りの飛行機の中では、楓恋さんと萌香さん、教育次長の三上さんと話したりして楽しかったです。仁川空港では、お土産やネットレス、ハンドクリームなどを買いました。かたつむりのハンドクリームだと思っていたのにヘビのハンドクリームでびっくりしました。

8月5日(月)

克蘭フォード役場にて公式セレモニー



【橋の内容】
贈呈先：日本国中泊町 町長 小野俊逸
克蘭フォード町との姉妹都市関係が開始されたことを認定する。
2013年8月5日
贈呈者：克蘭フォード町行政委員会



【両町の橋渡しとなった米塚氏】

【子どもたちのプレゼント交換】

■初めてアメリカに行つて



葛西 芳枝さん (中里中2年)

私が、アメリカに行つて楽しかった事は、自由の女神を見たことと現地の学生といっしょにごはんを食べたことです。

自由の女神まで行く船でコーラを買ったら、サイズが少し大きくてびっくりしました。自由の女神はとて高かったです。

現地の学生とのごはんは、いろいろな会話をしながら食べました。英語でお話するのはとてもむずかしかったです。でも、ジュースチャージャーをたくさんやりながら話をして楽しくできました。とてもいい勉強になりました。

久しぶりに乗った飛行機でははしやぎすぎました。みんなが寝てしまっても、1人で起きておりがみを折ったりしました。行きの飛行機は楽しめたけど、帰りはつかれてしまつて寝ぼけたりしてしまいました。ショッピングモールでは、わくわくしていたけど、おみやげが買う所がなく走りまわりました。ショッピングモールの後に行った所では、大きなシャボン玉や身長がわかる機械などがあって身長を測りました。ここでは、いろんな虫などいて楽しかったです。カエルのひかるおもちやでいろんな人にいたずらしておもしろかったです。

私は、アメリカに行つていろんな体験ができました。食べ物には困らなかったのですが、英語がもつとできなかったら住みたいかもと思いました。いろいろな国に行つてみたいと思います。

克蘭フォード町の警察署・消防署視察
町営プールで交流



【町営プールで交流】

【はしご車上の両町長】



【パトカーを見学】

■初めての海外旅行



佐々木 小百合さん (中里中3年)

今回は私にとって初めての海外旅行で、とても楽しみでしたが、不安もありました。青森空港から韓国の仁川空港に行き、そこからケネディ

空港に向かいました。韓国には約2時間半でしたが、韓国からアメリカへは約14時間かかりました。14時間もかかるのに、時差が13時間もあるので、時計は1時間しか進まず、変な感覚でした。

2日目は、時差ボケはきつかったけど楽しかったです。ビルがとても高く、真上を見ないと一番上が見えなかったです。自由の女神もすごく大きく、フランスからどうやって運ばれたのかなあ、と思いました。

3日目は克蘭フォードに行き、警察署の見学等を行いました。その後、アメリカの学生さんたちと一緒に、プールに行きました。暑かったけど楽しかったです。夕食は学生さんたちと一緒に食べました。英会話はとても大変で、学校の授業と違って全然聞き取れなかったけど、協力してなんとか話ができました。

■中泊町青少年国際交流事業に参加して



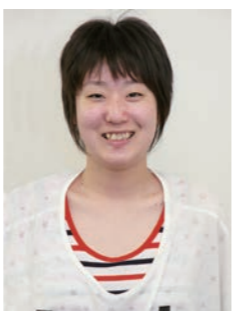
長谷川 正樹くん (小泊中2年)

私が参加しようと思ったきっかけは、本場の外国語で会話をしてみたいという理由からでした。そしてアメリカに到着したので、何を言っているのかわからない英語ばかりで本当に大変でした。コーヒーを頼む時イントネーションの違いで理解してもらえず本場の英語になれるのは、相当難しいと思います。

1日目は、いろいろな場所で写真を撮り思い出を残しました。何が大変だったかという食べ物物の量で特に夕御飯の中国料理店では、一口も食べることが出来ず店員さんたちは悲しそうに顔を上げていて申し訳ない気持ちになりました。

2日目は、現地の柔道教室の生徒さん達とプールに行き言葉は通じなかったけど優しい人達で大体はジェスチャーで会話をすることができました。一緒に夕食を食べ、いろいろな話をしたのですが、私は英語が得意ではないので話題を考えるので精一杯でした。

■アメリカに行ってみて



米塚 結衣さん (中里中3年)

私はアメリカに行つて、初めてのことが多く大変だったけど、楽しかったこともたくさんありました。飛行機内では移動時間が12時間以上あったり、緊張してあまり寝られなかったのが飽きてしまいました。ケネディ空港に着くと、周りの人みんなが外人で、「アメリカに来たんだな」と実感しました。

2日目はニューヨーク市内視察で、グラウンドゼロや自由の女神などを見に行きました。自由の女神への船から見えた空はとても鮮やかだったし、ニューヨークの町も周りの景色がビルに映つていてとてもきれいでした。自由の女神はとても大きく、観光客が米粒のように見えました。3日目は、セレモニー後、プールに行きました。足が着かなくて大変だったけど、久しぶりのプールでも楽しかったです。夕食では、現地学生が混ざって席に座り、一緒に折り紙の鶴を作ったり、色々なことを話しました。学生さんは気さくで

杯でした。

3日目は、トシさんという人に変なお世話になり、私は大量に購入できました。トシさんは、アイスまでおごってくれて、本当に感謝の一言でした。

アメリカで学んだ事は、英語ではなく言葉が通じなくても、何とか伝えようとする気持ちや、アメリカの人々の優しさを知る事ができ楽しかったし、人とのふれあいの仕方を改めて知る事ができました。この思い出は私の宝物です。

8月6日(火)

克蘭フォード柔道空手センター、科学博物館などの見学



【柔道空手センター】

【科学博物館】

【マンハッタンをバックに記念撮影】



■中泊町青少年国際交流事業に参加して



熊木 寧々さん (小泊中2年)

私の中では、アメリカは世界の中心の国というイメージが強く、楽しみだったけれどとても緊張していました。

ニューヨークは大きな建物がたくさんあって、改めて世界は広いということを実感。自由の女神を見ましたが、本物は想像以上に大きく、美しく、とても感動しました。空高く聖火をかかげ、たくましい左うでには独立宣言書をかかえていて、その姿はほこらげでした。克蘭フォード町の交流では、最初は言葉がなかなか通じなくて大変だったけれど、ジェスチャーも交えて自分から進んで話しかけました。学校で習ったことを生かして会話できたと思います。

米塚義定さんが教える柔道・空手センターでは、Tシャツとバッジをいただきました。博物館では、歴史や文化、科学や自然などを、楽しみながら学べました。昔の工事現場や、小動物の生活の様子を再現したアトラクションが楽しかったです。初めての海外だったので、最初は不安でいっぱいでしたが、多少の時差ボケはあったけれど、意外とすぐに慣れました。少し自分に自信が持てるようになった気がします。このような機会をあたえて下さった町長さん、米塚さん、同行して下さいましたみなさん、大変お世話になりました。6日間の経験を将来に生かせるように、これからもがんばります。

トビルは、展望台が86階にあり、マンハッタンがきれいに見え自由の女神も小さく見えていました。

克蘭フォードでの交流では、言葉が通じるか、仲良くなるか不安でドキドキしました。セレモニーで現地学生に記念品として風鈴とうちわを渡しました。プールでは、現地学生と競泳しました。僕は得意のバタフライで泳ぎ、全て僕が勝つと学生が「ワンモア」と言ったので何度も勝負しました。監視の人も「グレイト」と言ってくれました。ホテルでその学生たちに「カモン」と言われ、トランプを一緒にやりました。パパ抜きでしたが、学生たちの方が強くて負けてしまいました。その後、趣味など簡単な話ができ、誘われてうれしかったです。

帰りの飛行機の隣はスペインの人でした。三沢市で英語やスペイン語を教えているそうです。日本語がとても上手でした。独学で覚えるなんてすごいなあと思いました。アメリカでは、すごい建物やびつくりすることがいっぱいあり、またいろんな人に出会い、不安だった言葉も何とか相手に伝えて交流できたと思えました。この旅は大切な思い出の一つになりました。

8月7日(水)~8日(木)

JFK→仁川→青森



【帰国へ...疲れもピーク】

中泊役場到着



【役場で家族たちが迎える】

■青少年国際交流



古川 敦基くん (中里中1年)

ニューヨーク視察では、自由の女神像はとても大きく、フランスはこの巨大な物をどうやって運んだのかなと思えました。エンパイアステイ